



# 平成30年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 前田工織株式会社

上場取引所 東

コード番号 7821 URL <http://www.maedakosen.jp/mdk>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 征利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 斉藤 康雄

TEL 0776-51-3535

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年9月21日～平成29年12月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	8,663	4.3	1,210	6.1	1,229	1.4	864	1.9
29年9月期第1四半期	8,303	7.1	1,140	8.6	1,212	10.6	848	11.7

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 912百万円 (14.5%) 29年9月期第1四半期 796百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	26.81	26.80
29年9月期第1四半期	26.32	26.31

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	37,373	27,260	72.8
29年9月期	36,519	26,598	72.7

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 27,194百万円 29年9月期 26,540百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		8.00		8.00	16.00
30年9月期					
30年9月期(予想)		8.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年9月期の期末及び合計の配当金は未定であります。

## 3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年9月21日～平成30年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,200	6.8	2,220	9.9	2,220	5.0	1,620	6.6	50.20
通期	34,000	8.8	4,400	8.2	4,400	4.8	3,270	5.2	101.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期1Q	32,236,300 株	29年9月期	32,236,300 株
期末自己株式数	30年9月期1Q	2,355 株	29年9月期	2,263 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期1Q	32,233,988 株	29年9月期1Q	32,233,932 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善による人手不足や原材料価格・運送コストの上昇が懸念される一方で、企業収益の改善により設備投資に持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調が続いております。また、海外においては、米国の政策運営や新興国経済の先行き、地政学的リスク等が株式・金利・為替の市場価格に与える影響に注視する必要があるものの、国内経済は各種政策を下支えに今後も緩やかな回復基調が続くものとみられております。

このような状況のなか、当社グループでは、2018年の創業100周年に向けた企業メッセージとして「前田工織は混ぜる会社です」を掲げております。このメッセージには、当社グループが持続的成長を遂げるための強い思いを込めており、グループの持つあらゆる経営資源を「混ぜる」ことで、成長戦略である「M&A」、「人材育成」、「海外事業」を積極的に推進するための原動力になると考えております。

M&A戦略においては、当社グループがこれまで培ってきた繊維・樹脂の加工技術に捉われず、異分野がもつ様々な技術やノウハウを「混ぜる」ことで、新製品や新技術を創出してまいります。人材育成においては、グループ社員全員を戦力化するほか、多様な人材を採用・育成し、それらの能力・経験から生まれる人的資源を「混ぜる」ことで、イノベティブな組織風土を築いてまいります。また、当社では、「従業員の健康が会社の未来を決める」との考え方のもと、すべての従業員の健康に深く関わっていくことを決意し、「健康宣言」を行うことにいたしました。今後、健康で働きがいのある職場づくりに向けた様々な施策に取り組んでまいります。

海外事業においては、海外の生産拠点を拡充するとともに、外国籍企業との業務提携等を通じて国内外の技術や販売ネットワークを活用することで、当社グループ製品の市場拡大を目指してまいります。

なお、創業100年以上の企業を対象とする、地域社会や地域経済の発展に寄与する長寿企業を顕彰する「100年企業顕彰」（主催：100年経営の会）において、当社は「100年経営大賞福井県知事賞」を受賞しました。この受賞を励みとし、今後とも企業価値向上に一層取り組んでまいります。

当社グループは、モノづくりを通じて、「私たちは 独自の知恵と技術で 持続可能な地球 そして 安全・安心で豊かな社会を創るために 貢献してまいります」という経営理念を実践し、さらに世の中から必要とされる企業となるよう努力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は8,663百万円（前年同期比4.3%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は1,210百万円（同6.1%増）、経常利益は1,229百万円（同1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は864百万円（同1.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (ソーシャルインフラ事業)

国内の公共工事事業においては、当社の盛土補強材や排水材、森林保全製品、コンクリート構造物の補修・補強材料、景観資材等が順調に推移いたしました。不織布関連の製品については、産業資材、自動車資材等で使用されるスパンボンド（連続長繊維不織布）の受注が大幅に増加したことから、引き続き好調に推移しました。なお、ため池や河川の堤体改修に用いられる遮水シートでは、天然素材のペントナイト（水分を吸収・膨潤して粘土化すると水や化学薬品に不透水性を示す素材）を織布と不織布で挟み込み一体加工した「テクトシール」を上市しました。当シートは、有害物質を含まず、耐久性と施工性に優れた特長をもっており、廃棄物最終処分場における汚染水対策にも活用できます。今後も、環境保全に向けた技術開発を進め、高付加価値な製品・工法を積極的に提供してまいります。

獣害対策製品、園芸用ハウス、農業資材を取り扱う子会社の未来のアグリ株式会社においては、獣害対策における大型案件の受注獲得等により、売上・利益とも前年同期を上回る結果となりました。なお、園芸用ハウスの受注は増加傾向にあるものの、一部案件の期ずれ等により、低調に推移しました。

海外子会社であるMAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.においては、取扱製品の拡充や生産性の改善により売上・利益ともに大幅に伸長しました。同社第2工場の稼働による生産能力の拡充を活かして、当社グループ製品のASEAN地域における販路拡大に努めております。また、台湾のGOLD-JOINT INDUSTRY CO., LTD.との業務提携を有効活用することで、海外販売網の拡大を図っております。

当事業の売上高は6,006百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は1,036百万円（同5.7%増）となり、売上・利益とも前年同期を上回る結果となりました。

## (インダストリーインフラ事業)

子会社の未来コーセン株式会社では、仮燃事業における新規設備の稼働に遅れが出たものの、主力商品であるハードディスクや複写機等の精密機器製造向けワイピングクロスにおいて、高性能ワイピングクロスDTM50等の自社販売が好調であることに加え、受託生産事業の貢献もあり、売上は前年同期を上回る結果となりました。

当事業の売上高は582百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は114百万円（同2.2%減）となりました。

## (ヒューマンインフラ事業)

ヒューマンインフラ事業では、アルミ鍛造ホイールを製造する子会社のBBSジャパン株式会社において、自動車メーカー向けOEM供給が順調に推移したほか、利益率の高いアフター市場向け製品も国内外で好調に推移した結果、売上・利益とも前年同期を上回る結果となりました。

なお、国内アフター市場向け製品では、新色の特別モデル「LM/LM-R 2018 limited edition」を期間限定で販売しており、好評を得ております。また、新たにSUV向けのモデル「RE-X」の販売を開始いたしました。今後も業界トップの鍛造ホイールメーカーとして、新製品を積極的に投入してまいります。

当事業の売上高は2,073百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は303百万円（同19.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ854百万円増加し37,373百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ371百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が662百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が962百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ482百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が96百万円減少したものの、有形固定資産が471百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し10,113百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ200百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が292百万円、賞与引当金が142百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が345百万円、電子記録債務が176百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ661百万円増加し27,260百万円となりました。これは主に、利益剰余金が606百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2017年11月2日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月20日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,112,790	6,449,793
受取手形及び売掛金	7,625,419	8,588,291
電子記録債権	1,816,655	2,020,947
商品及び製品	3,583,213	3,306,327
仕掛品	782,039	908,293
原材料及び貯蔵品	1,803,831	2,018,611
繰延税金資産	600,302	458,199
その他	239,641	184,972
貸倒引当金	△1,801	△1,624
流動資産合計	23,562,092	23,933,811
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,790,440	6,865,626
減価償却累計額	△3,973,140	△4,019,891
建物及び構築物(純額)	2,817,300	2,845,734
機械装置及び運搬具	8,407,010	8,430,039
減価償却累計額	△5,494,478	△5,656,245
機械装置及び運搬具(純額)	2,912,532	2,773,794
土地	3,283,501	3,640,945
建設仮勘定	204,129	314,974
その他	2,111,556	2,268,009
減価償却累計額	△1,795,414	△1,838,675
その他(純額)	316,142	429,334
有形固定資産合計	9,533,606	10,004,783
<b>無形固定資産</b>		
のれん	778,006	717,196
ソフトウェア	157,481	145,477
ソフトウェア仮勘定	220	-
商標権	799,595	788,406
技術資産	237,416	228,166
その他	367,420	364,437
無形固定資産合計	2,340,140	2,243,683
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	339,520	342,264
繰延税金資産	335,579	336,542
その他	408,572	512,501
投資その他の資産合計	1,083,671	1,191,308
固定資産合計	12,957,418	13,439,775
資産合計	36,519,510	37,373,587

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,586,322	1,931,991
電子記録債務	1,774,186	1,951,100
1年内返済予定の長期借入金	220,004	220,004
未払金	1,228,837	1,269,578
未払法人税等	550,696	258,612
賞与引当金	406,067	263,203
設備関係支払手形	85,665	59,995
その他	554,761	652,241
流動負債合計	6,406,541	6,606,727
固定負債		
長期借入金	1,356,658	1,351,657
長期末払金	637,045	632,186
繰延税金負債	477,040	473,371
役員退職慰労引当金	24,192	25,490
退職給付に係る負債	978,252	982,756
その他	41,000	41,000
固定負債合計	3,514,188	3,506,461
負債合計	9,920,730	10,113,188
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,442,152	3,442,152
資本剰余金	3,401,780	3,401,780
利益剰余金	19,714,464	20,320,874
自己株式	△876	△1,062
株主資本合計	26,557,520	27,163,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,058	59,295
繰延ヘッジ損益	△14,132	△17,159
為替換算調整勘定	△23,956	23,837
退職給付に係る調整累計額	△37,939	△34,816
その他の包括利益累計額合計	△16,970	31,156
新株予約権	58,231	65,497
純資産合計	26,598,780	27,260,398
負債純資産合計	36,519,510	37,373,587

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月21日 至 2016年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2017年12月20日)
売上高	8,303,479	8,663,178
売上原価	5,264,766	5,429,801
売上総利益	3,038,713	3,233,377
販売費及び一般管理費	1,898,315	2,022,976
営業利益	1,140,397	1,210,401
営業外収益		
受取利息	55	26
受取配当金	6,087	517
為替差益	55,379	11,359
固定資産売却益	66	1
その他	15,098	17,865
営業外収益合計	76,688	29,769
営業外費用		
支払利息	2,359	1,803
固定資産売却損	1,035	1
固定資産除却損	770	8,087
その他	328	659
営業外費用合計	4,493	10,552
経常利益	1,212,592	1,229,618
税金等調整前四半期純利益	1,212,592	1,229,618
法人税、住民税及び事業税	221,023	229,036
法人税等調整額	143,135	136,300
法人税等合計	364,158	365,336
四半期純利益	848,433	864,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	848,433	864,282

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年9月21日 至 2016年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月21日 至 2017年12月20日)
四半期純利益	848,433	864,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,733	237
繰延ヘッジ損益	-	△3,027
為替換算調整勘定	△78,594	47,793
退職給付に係る調整額	3,175	3,123
その他の包括利益合計	△51,685	48,127
四半期包括利益	796,748	912,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	796,748	912,410

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、前田工織キャピタル合同会社を新たに設立したため、持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2016年9月21日至2016年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	ヒューマン インフラ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,686,338	573,480	2,043,661	8,303,479	-	8,303,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	184	365	-	550	△550	-
計	5,686,522	573,846	2,043,661	8,304,030	△550	8,303,479
セグメント利益	980,398	117,030	255,460	1,352,889	△212,492	1,140,397

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,492千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2017年9月21日至2017年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル インフラ事業	インダストリー インフラ事業	ヒューマン インフラ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,006,337	582,880	2,073,961	8,663,178	-	8,663,178
セグメント間の内部 売上高又は振替高	774	30	-	804	△804	-
計	6,007,111	582,910	2,073,961	8,663,983	△804	8,663,178
セグメント利益	1,036,504	114,467	303,959	1,454,931	△244,529	1,210,401

(注) 1. セグメント利益の調整額△244,529千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。